

# 【ウェビナー】 Salesforce連携 oproarts Excel編 / ViewFramer編 ハンズオンセミナー

～本日の手順書～



# 全体の流れ

## STEP1 ViewFramerとは

ViewFramerの概要について説明をします。



## STEP2 テンプレートの作成

Excel上で帳票デザインを行います。



## STEP3 ViewFramerでの設定

帳票で使うオブジェクトや項目の選択と作成したテンプレートとの紐づけを行います。



## STEP4 出力アクションの作成

Salesforce上でアクションの作成、設置をします。

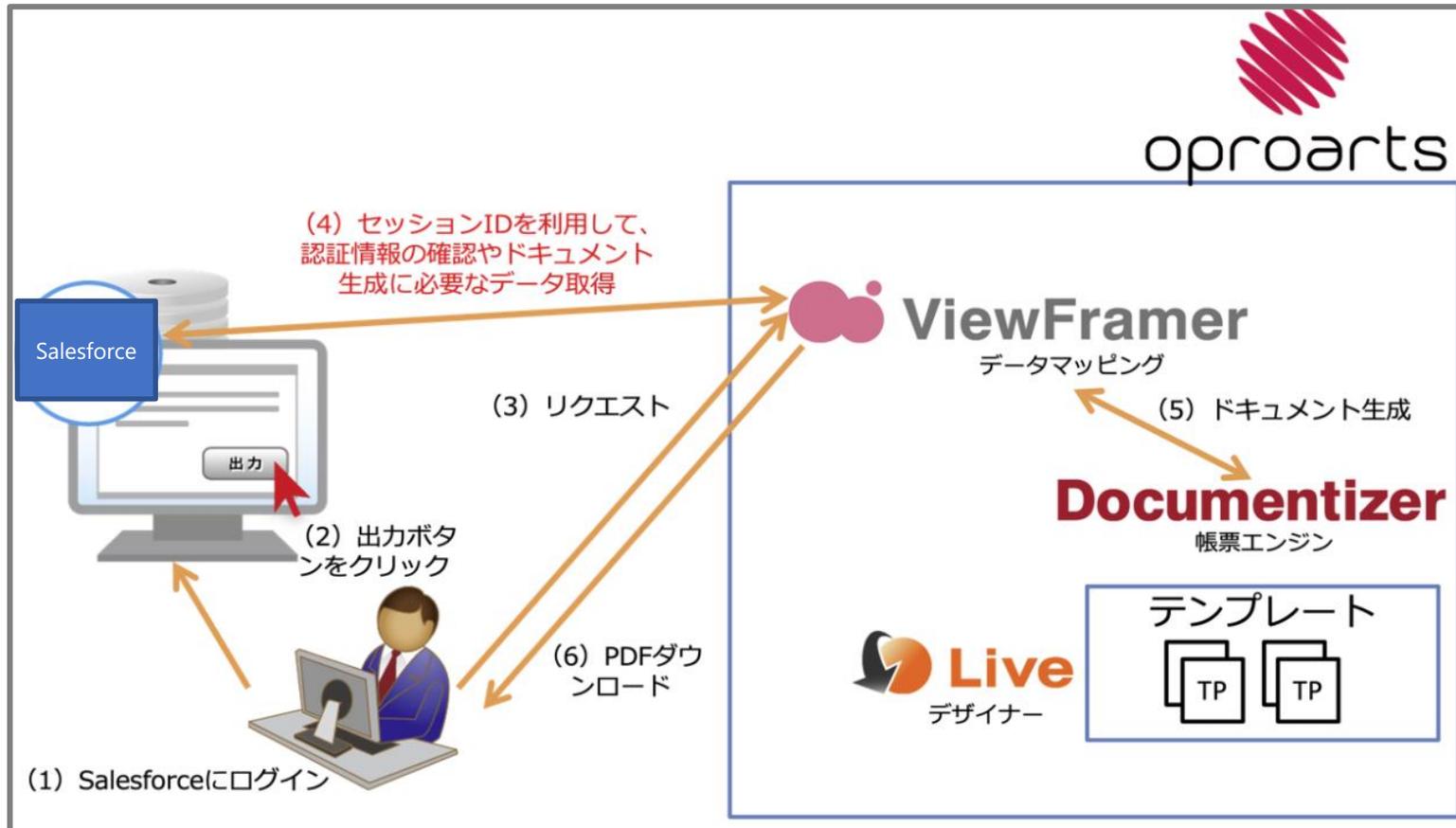


# ViewFramerとは



# ViewFramerの仕組み

## 仕組み



## 帳票DX for Salesforceとの違い

- ・ Salesforceのオブジェクト構造が「親・子・孫」となっている場合の、孫オブジェクトの情報を取得可能
- ・ 複数の明細を使用可能

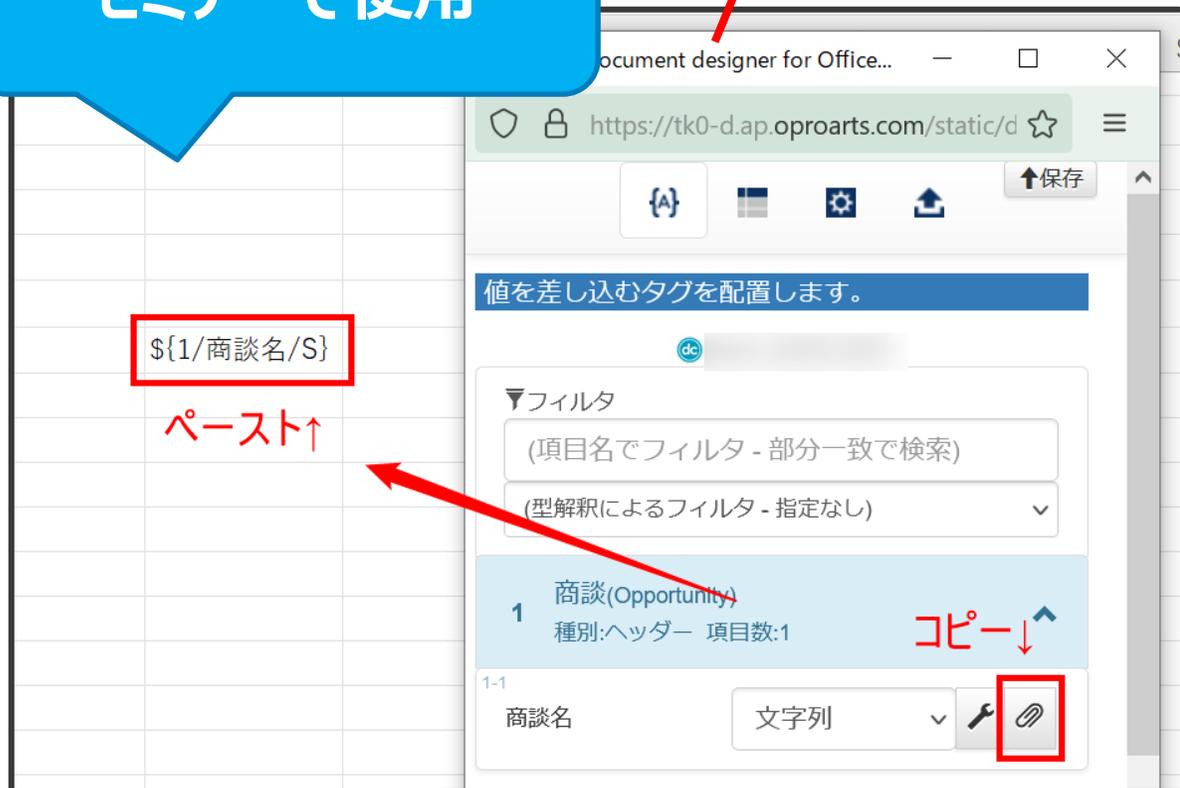
# テンプレートの作成



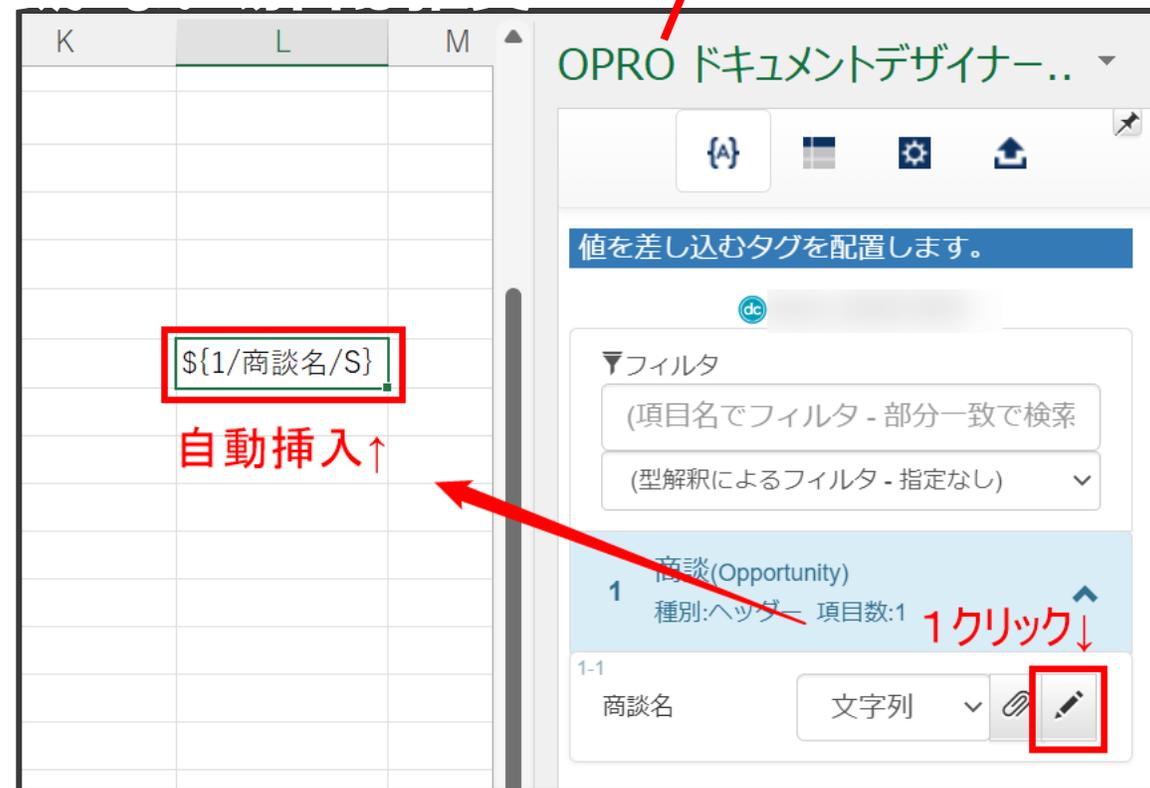
# ツールの説明 (Document Designer for Office)

セミナーで使用

ブラウザ



アドイン



## 【アドインなし】

アドインではなく、ブラウザ上で表示します。  
コピー&ペーストでタグを追加します。

## 【アドインあり】

Officeアプリにアドインを挿入しておきます。  
1クリックでタグを追加できます。

# テンプレートの作成（完成目標）

本日の完成目標

商品名	単価	数量	金額
PC	¥10,000	1	¥10,000
モニター	¥5,000	1	¥5,000
コード	¥500	6	¥3,000
キーボード	¥1,000	2	¥2,000
合計			¥20,000
消費税			¥2,000
総合計			¥22,000

# テンプレートの作成（OPROARTS Designerログイン）

- Salesforce組織の[OPROARTS Connector]を選択し、帳票デザイナーへログインします。

The image shows a two-step process for logging into OPROARTS Designer from Salesforce.   
Step 1: In the Salesforce application launcher, the user clicks the application launcher icon (1), searches for "OPROARTS" (2), and selects "OPROARTS Connector v2" (3).   
Step 2: The user is redirected to the OPROARTS Designer login page, where they select the "OPROARTS" tab (4) and click the "START" button (5) to begin the process.

アプリケーションランチャー

1

設定 ホーム オブジェクトマネージャ

2

アプリケーション

3

OPROARTS Connector v2

項目

OPROARTS

OPROARTS Connector 設定

OPROARTS Connect... ホーム OPROARTS

[OPROARTS]タブを選択します

8. 追加ボタンをクリックします。  
9. 文書出力を許可するユーザについて、手順 5. から 8. までを繰り返します。  
10. 各ユーザのプロファイルを編集して、OPROARTSオブジェクトとOPROARTSユーザ

OPROARTS Designer

START

新しいウィンドウで OPROART Designer を開始します!

# テンプレートの作成 (OPROARTS Designer)

- [新規作成] -> [Excel]タブを開きます。
- 「タイトル」 アップロードを選択します。



「空白」・・・  
白紙から作成する際に使用  
「アップロード」・・・  
すでにデザインされているExcelを使用  
して帳票を作成する際に使用

# テンプレートの作成 (OPROARTS Designer)

- 以下のように設定をして  
「作成」ボタンをクリックしてください。
- ✓ 連携方法は[ViewFramer/D3Worker]を選択
- ✓ 出力形式は「Excel」
- ✓ テンプレート名は任意
- ✓ Excelブックに指定のExcelファイルを選択

セミナーではテンプレート名がかぶらないように、「名前\_本日の日付」にします。

例) opro\_20230101

新規作成

タイトル アップロード

Office上でマッピング

連携方法 ViewFramer/D3Worker

出力形式 Excel

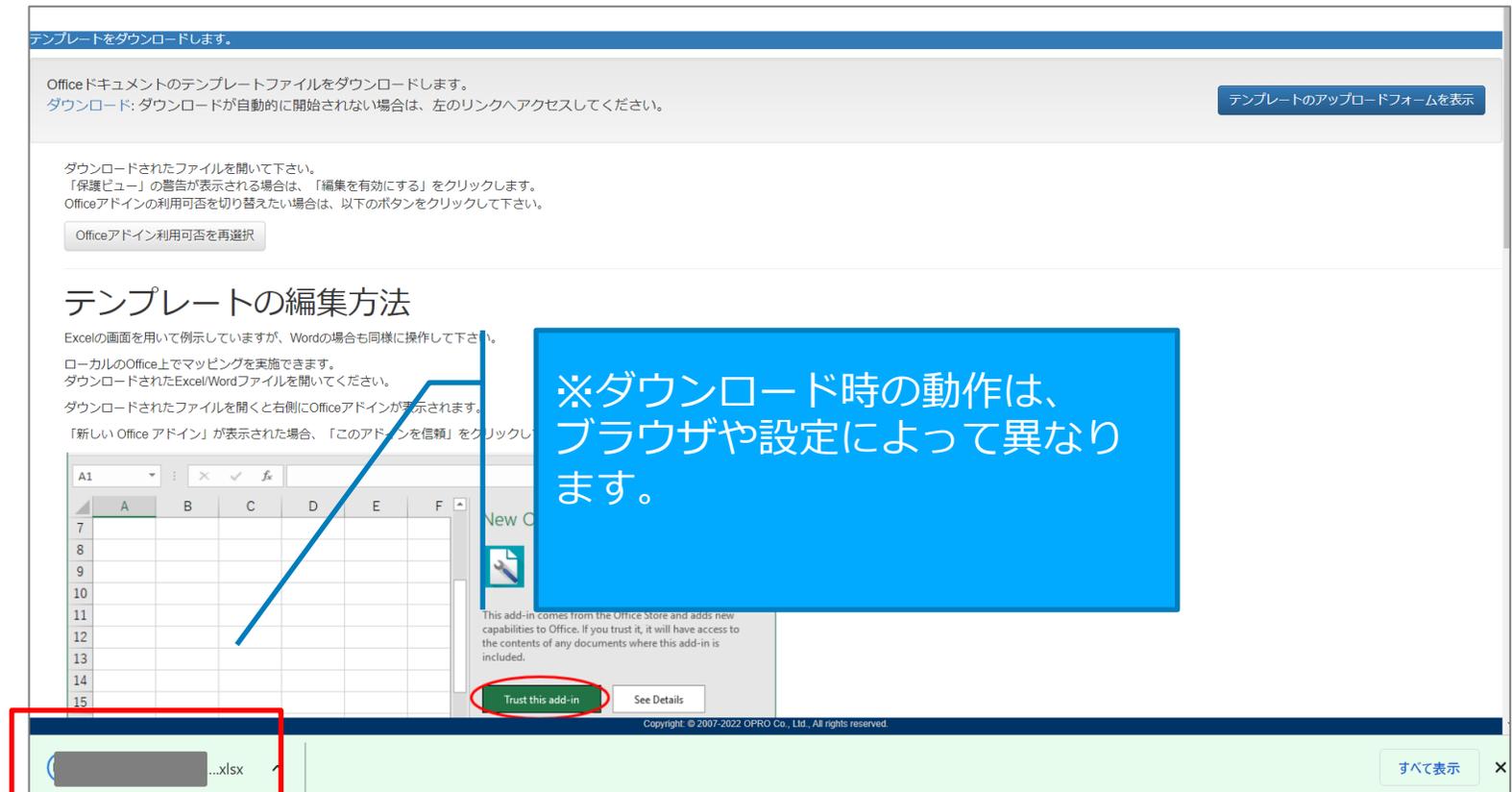
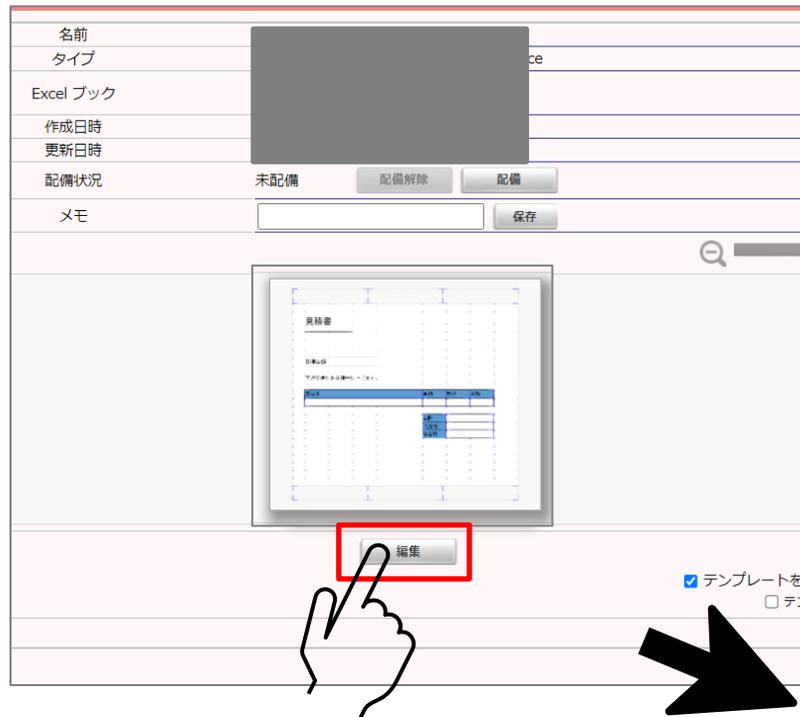
テンプレート名

Excel ブック ファイルを選択 選択されていません

作成

# テンプレートの作成 (OPROARTS Designer)

- 該当帳票を選択し「編集」ボタンをクリックします。
- Excelファイルがダウンロードされるので開きます。



# テンプレートの作成（DDO設定）

- 「Officeアドイン利用可否を再選択」 ボタンをクリックします。
- 「Officeアドインを利用しますか？」画面＞「いいえ」を選択します。

テンプレートをダウンロードします。

Officeドキュメントのテンプレートファイルをダウンロード: ダウンロードが自動的に開始されます。

ダウンロードされたファイルを開いて下さい。  
「保護ビュー」の警告が表示される場合は、「編集」をクリックして、Officeアドインの利用可否を切り替えたい場合は、以下のボタンをクリックして下さい。

Officeアドイン利用可否を再選択

### Officeアドインを利用しますか？

ダウンロードされたファイルを開いて下さい。  
「保護ビュー」の警告が表示される場合は、「編集を有効にする」をクリックします。  
画面の右側にOfficeアドインが表示されていますか？

はい Officeアドインが表示される場合は、こちらのボタンを押して下さい。

いいえ Officeアドインの利用が禁止されている場合や、Office アドインを実行するための要件(\*)を満たしていない場合は、こちらのボタンを押して下さい。  
※Windowsの場合は Office 2013 以降、macの場合は Office for mac 2016 以降

New Office Add-in

OPRO ドキュメントデザイナー for 日本オプロ株式会社

This add-in comes from the Office Store and adds new features to your Office applications.

OPRO Document Designer

Place mapping tags

セミナーでは「いいえ」を選択します。

# テンプレートの作成（DDO設定）

- Document Designer for Office（DDO）画面がポップアップウィンドウで開きます。

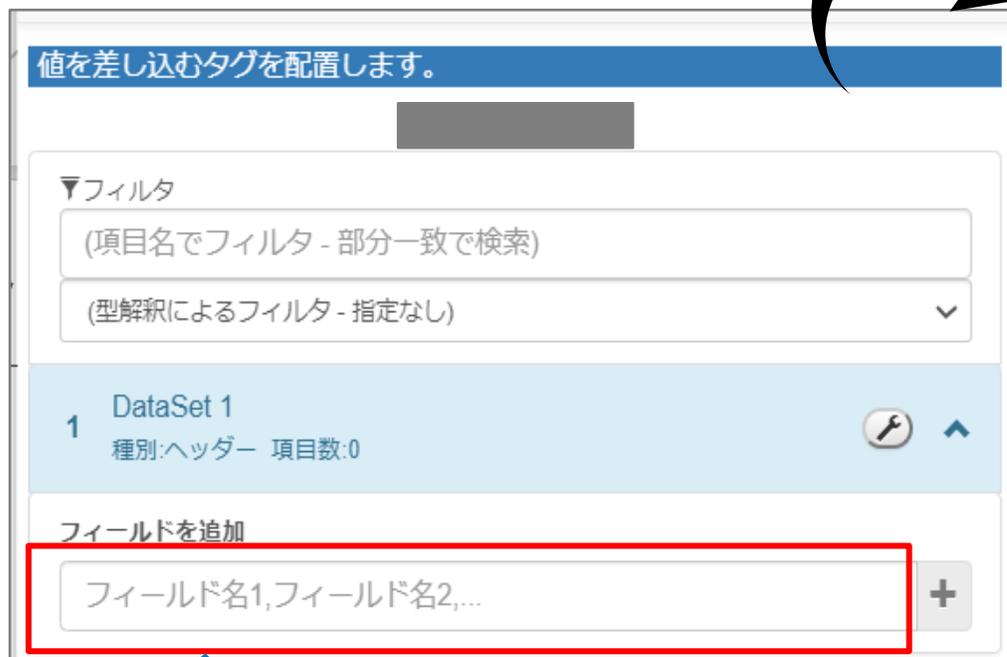


実際の画面

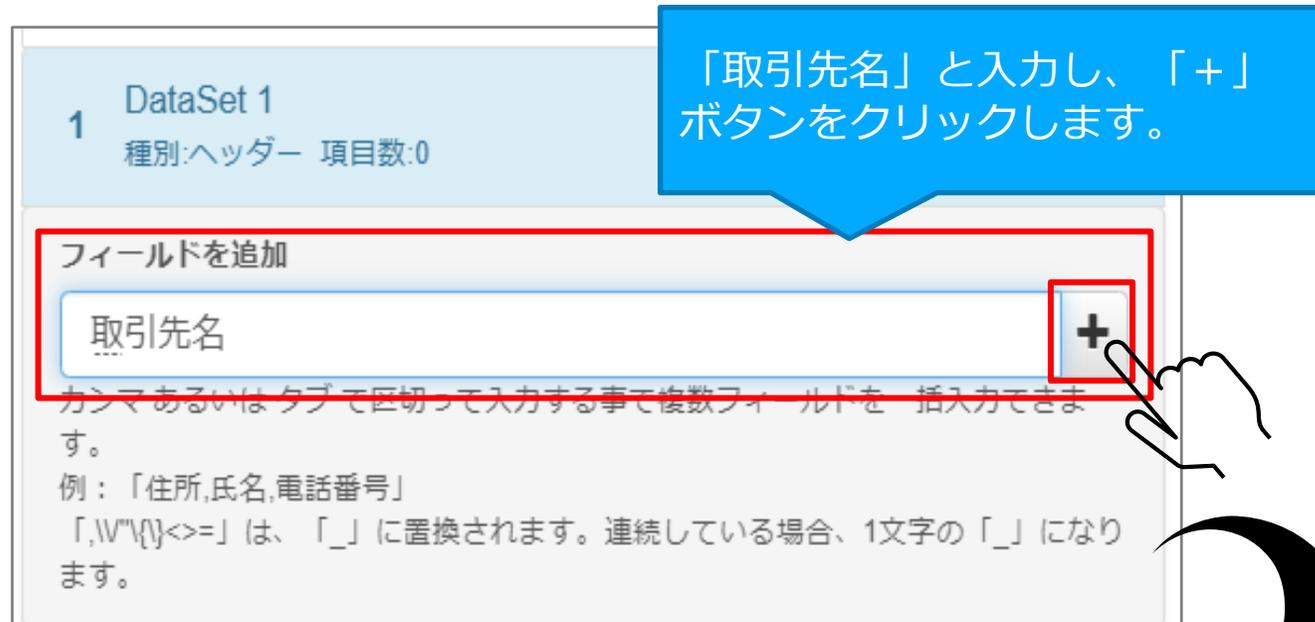
画面が開いていない場合は、ブラウザにてポップアップウィンドウの表示を許可して下さい。

# テンプレートの作成 (DDO設定ーフィールド追加ー)

- フィールドを作成します。
- ✓ 「取引先名」を追加



「フィールドを追加」の空欄をクリックします。



# テンプレートの作成（DDO設定－明細データセット追加－）

□ 明細データセットを追加します。

✓ 「DataSet2」を追加

「+ 明細データセットを追加」をクリックします。

「DataSet2」と入力されるので、セミナーではそのまま追加をクリックします。

値を差し込むタグを配置します。

1 DataSet 1  
種別:明細 項目数:0

+ 明細データセットを追加

値を差し込むタグを配置します。

1 DataSet 1  
種別:明細 項目数:0

2 DataSet 2  
種別:明細 項目数:0

フィールドを追加  
フィールド名1,フィールド名2,...

+ 明細データセットを追加

追加 キャンセル

# テンプレートの作成（DDO設定ーフィールド追加ー）

- 明細データセットにフィールドを作成します。
  - ✓ 「商品名」「販売価格」「数量」「合計金額」を追加
  - ✓ 「販売価格」「数量」「合計金額」は型を「数値」に変更

The image shows a two-step process for configuring a dataset in a software application. On the left, a window titled '1 DataSet 2' (種別:ヘッダー 項目数:0) is shown. A red box highlights the 'フィールドを追加' (Add Field) button, which is being clicked. Below it, another red box highlights the 'フィールド名' (Field Name) input field. A large black arrow points from this window to the right. On the right, a window titled '2 DataSet 2' (種別:明細 項目数:4) is shown. It lists four fields: '商品名' (Product Name), '販売価格' (Sales Price), '数量' (Quantity), and '合計金額' (Total Amount). A red box highlights the '販売価格' field's dropdown menu, which is open, showing a list of data types. The '数値' (Number) option is selected and highlighted in blue. A blue callout box points to this dropdown with the text: '金額などの数値を表記するフィールドで選択します。' (Select for fields that represent numerical values such as amounts). Another blue callout box points to the 'すべて追加し終わったら、型を変更します。' (After adding all fields, change the type.) instruction. The bottom of the interface shows a '+ 明細データセットを追加' (Add Detailed Data Set) button.

金額などの数値を表記するフィールドで選択します。

すべて追加し終わったら、型を変更します。

# テンプレートの作成（DDO設定ータグ貼り付けー）

- ❑ フィールドをExcel上に設置します。
- ❑ クリップマークをクリックするとタグがコピーされるので、Excel上に貼り付けを行います。

「取引先名」以外にも同じようにタグをコピーし貼り付けを行います。

見積書	
\$ {1/取引先名}	
見積金額	¥0

DDO画面右上に表示されます。

# テンプレートの作成（DDO設定ー繰り返し設定ー）

□ [ ]タブより明細部の繰り返し設定を行います。

✓ 繰り返す行で何も設定されていないセルを選択

□ 「生成したタグ」をクリップマークからコピーして貼り付けます。

下記の通りお見積申し上げます。

商品名	単価	数量	金額
#{2/商品名}	#{2/販売価格/N}	#{2/数量/N}	#{2/合計金額/N}

明細部分の繰り返しが行われる行の何もタグが設定されていないセルに「繰り返しを指定したタグ」を貼り付けます。

繰り返しを指定するタグを配置します。

引用元  
2.DataSet 2

このタグのセル位置 A1 座標

繰り返す行数 1 行

繰り返す列数 列

出力可能最大レコード数 件

グルーピングする  
指定した単位で集計する事が出来ず

ゼロ件時の棒出力なし

改ページ制御や空行挿入  
 なし  全体  グループ

行繰り返し出力を行う範囲を指定して下さい。

生成したタグ  
#{repeat:#{tableId}:2}

ボタンをクリックするとタグをコピーします。Officeのドキュメント上に貼り付け

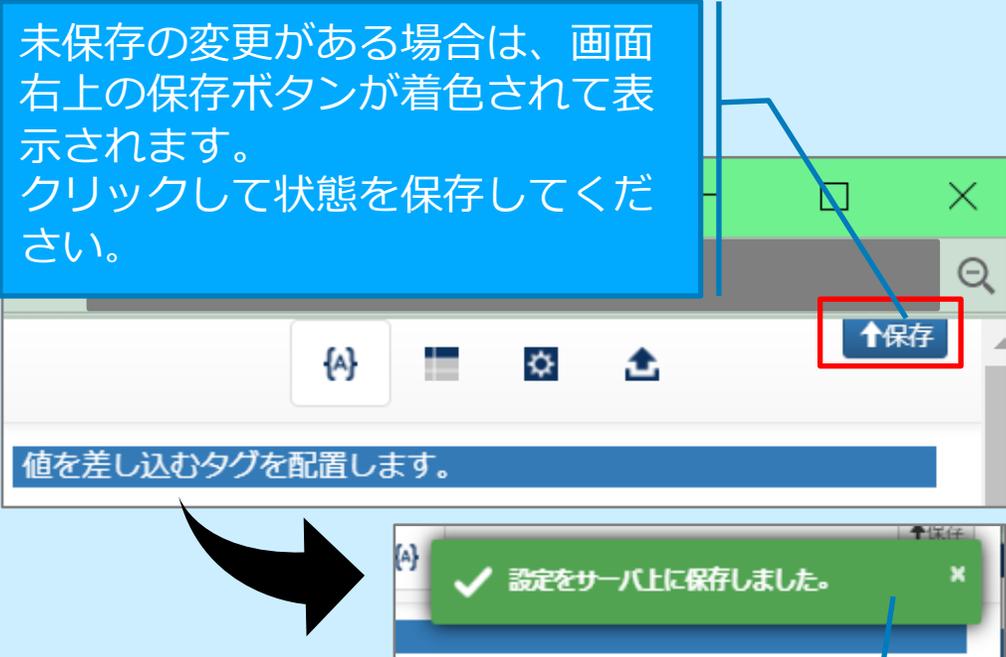
繰り返し設定を行い、完了したら画面下部の「生成したタグ」をコピーします。

# テンプレートの作成（保存）

- 設定したDDO画面とExcelファイルを保存します。

**DDO画面**

未保存の変更がある場合は、画面右上の保存ボタンが着色されて表示されます。クリックして状態を保存してください。



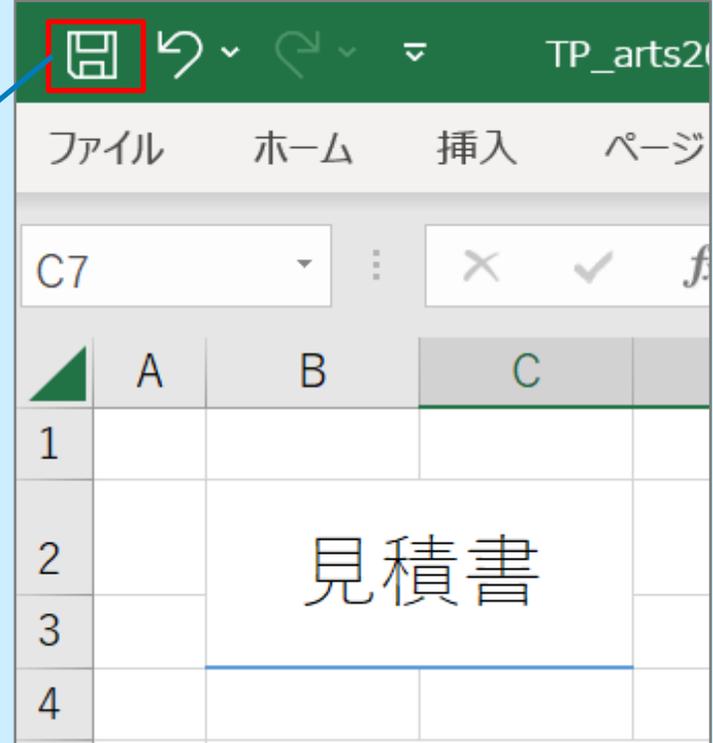
↑保存

値を差し込むタグを配置します。

「設定をサーバ上に保存しました。」と表示されたら保存が完了しています。

**Excelファイル**

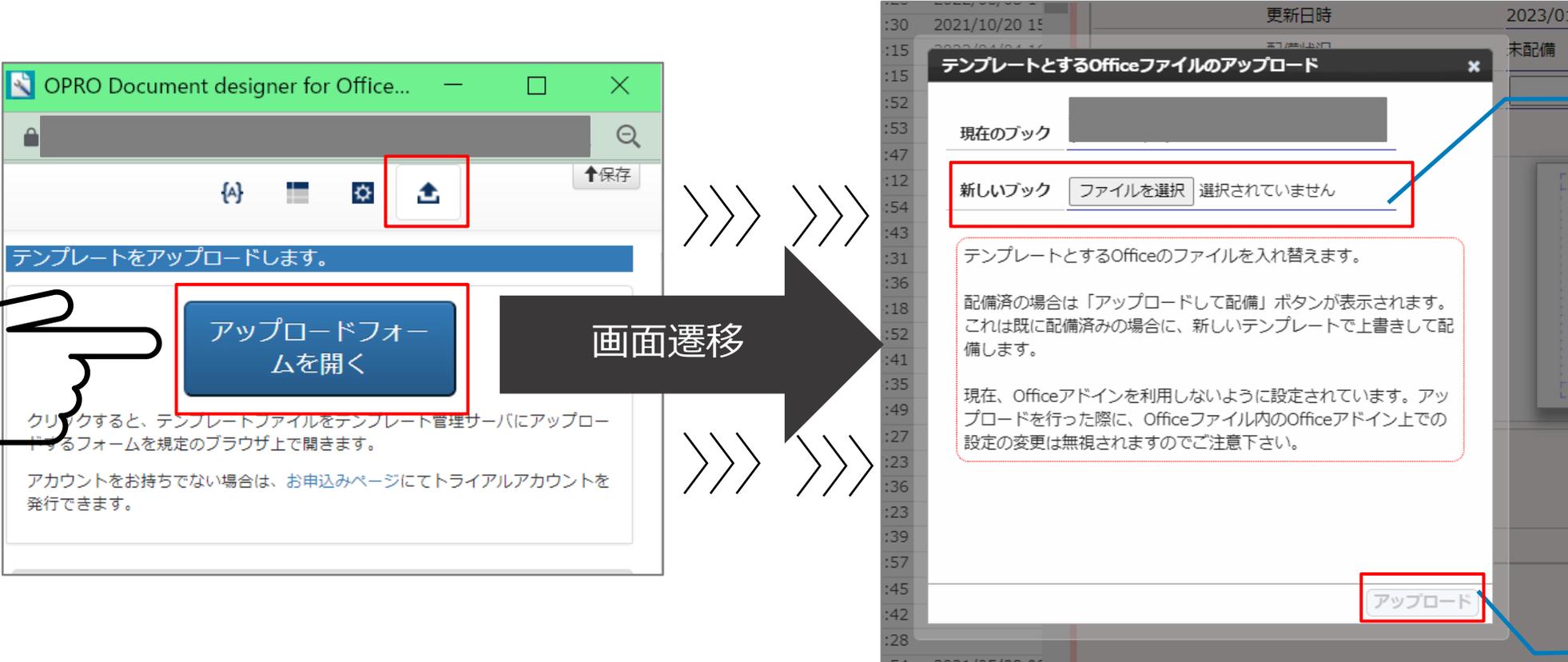
赤枠部分から、Excelファイルを保存します。



	A	B	C
1			
2			見積書
3			
4			

# テンプレートの作成（アップロード）

- ❑ 作成したExcelファイルをアップロードします。
- ✓ DDO画面の  タブから「アップロードフォームを開く」ボタンをクリックします。



テンプレートをアップロードします。

アップロードフォームを開く

画面遷移

テンプレートとするOfficeファイルのアップロード

現在のブック [ ]

新しいブック  選択されていません

アップロード

OPROARTS Designer画面に遷移します。

「新しいブック」に先ほど保存したExcelファイルを選択します。

「アップロード」ボタンをクリックし、アップロードを行います。

# テンプレートの作成（配備）

- 作成したテンプレートを配備します。

The screenshot displays a web-based interface for managing templates. The main area is a form with several fields and buttons:

- 名前** (Name): A text input field.
- タイプ** (Type): A dropdown menu.
- Excel ブック** (Excel Book): A text input field with an **アップロード** (Upload) button to its right.
- 作成日時** (Creation Date/Time): A text input field.
- 更新日時** (Update Date/Time): A text input field.
- 配備状況** (Equip Status): A dropdown menu currently set to **未配備** (Not Equipped). To its right are three buttons: **配備解除** (Cancel Equip), **配備** (Equip), and **編集** (Edit). The **配備** button is highlighted with a red rectangle.
- メモ** (Memo): A text input field with a **保存** (Save) button to its right.

Below the form, there is a preview window showing a sample Excel spreadsheet with a header row and several data rows. At the bottom right of the interface, there is a checkbox labeled **テン** (Tem) which is checked.

# ViewFramerでビューー定義 (ヘッダー用)



# ViewFramer (ViewFramerログイン)

- ViewFramerにアクセスし、ログインをします。

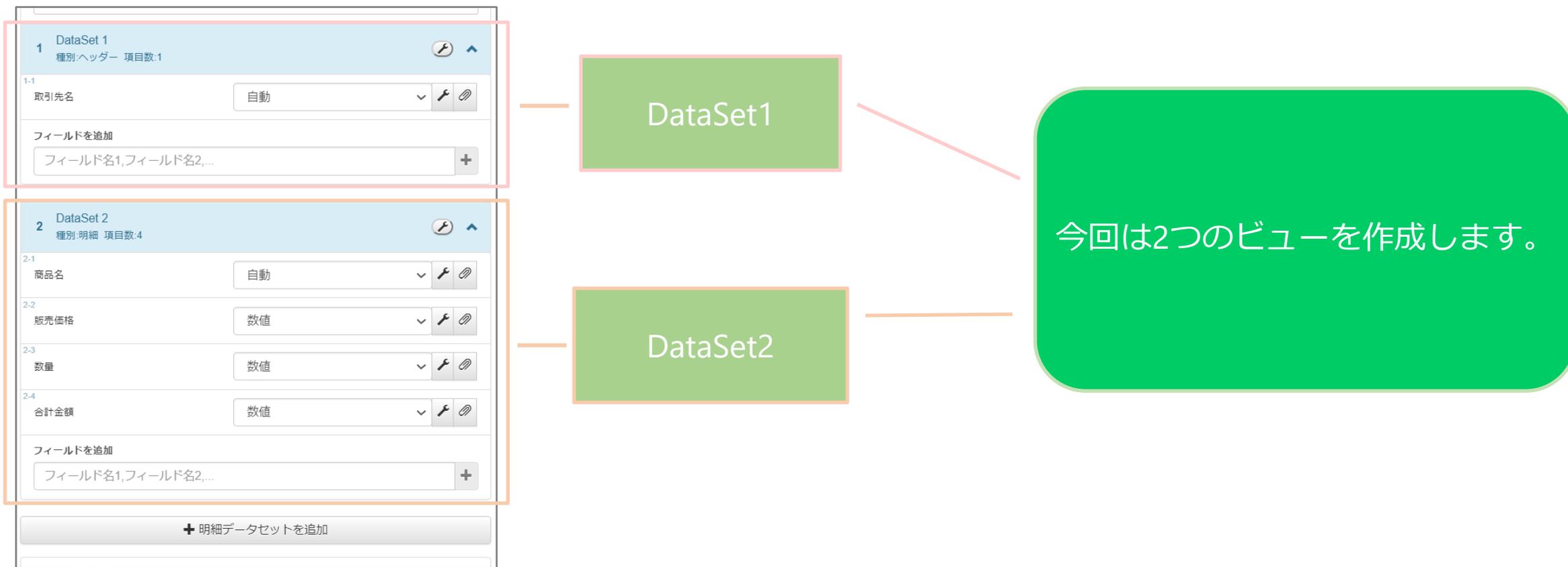
[https://vfui.ap.oproarts.com/view\\_framer\\_ui](https://vfui.ap.oproarts.com/view_framer_ui)



The image shows a login form for ViewFramer. At the top left is the ViewFramer logo, which consists of two overlapping pink circles of different sizes. To the right of the logo is the text "ViewFramer" in a bold, dark grey font. Below the logo and text are three input fields, each with a label to its left: "CID", "UID", and "UPW". Each label is in a dark grey font. The input fields are white with a thin grey border. Below the input fields is a blue button with the text "ログイン" (Login) in white.

# ViewFramer (ビュー定義とは)

- ビュー定義は、テンプレートに渡すデータを集約する設定です。
- DDO画面で設定したデータセットに沿ったデータ集約を行います。



# ViewFramer (Salesforce)ログイン

- ViewFramerにログイン後、「ビュー」タブを開きます。
- 「新規」ボタンをクリックします。
- Salesforceへのログインを行います。



「新規」ボタンクリック後、ログイン画面が表示されます。  
「ログイン」ボタンをクリックすると、Salesforceのログイン画面が表示されるのでログインをお願いします。



# ViewFramer (ビュー一定義 -基本設定-)

- ビューは4ステップあります。
- 「基本設定」では、ビュー名を決めます。

マッピング ビュー CSVオブジェクト 表示設定 認証設定

ビュー：定義 (新規)

基本設定 リレーション設定 出力項目設定 出力条件設定

基本設定

ビュー名

タグ (Enterキーで確定)

マッピング名

戻る 元に戻す

次へ 保存

ViewFramer UI v3.4.1+20220315a

Copyright: © 2016-2022 OPRO Co., Ltd. All rights reserved.

# ViewFramer（ビュー定義 -リレーション設定-）

- 「リレーション設定」では、使用するオブジェクトを指定します。
- 起点とするオブジェクトを選択し、別名を決めます。
- ✓ 今回は「商談」オブジェクトを使用します。

ビュー：定義 (opro\_20230208\_header)

基本設定 **リレーション設定** 出力項目設定 出力条件設定

**リレーション設定**

主オブジェクト **商談 [Opportunity]** **shodan**

別名（英数字のみ使用可能）

No 関連オブジェクト

1 Apex クラス [ApexClass] + -

No	項目名	演算子	オブジェクト	項目名	
1	API バージョン	等しい(=)	0-商談 [Opportunity]	CC	AND + -

# ViewFramer (ビュー定義 -リレーション設定-)

- 関連オブジェクトを設定します。
- ここでは、参照関係となっている「取引先」オブジェクトを設定します。

ビュー：定義 (opro\_20230208\_header)

基本設定 リレーション設定 出力項目設定 出力条件設定

### リレーション設定

主オブジェクト 商談 [Opportunity] shodan

No 関連オブジェクト

1 取引先 [Account] torihikisaki

No	項目名	演算子	オブジェクト	項目名		
1	取引先 ID	等しい(=)	0-商談 [Opportunity]	取引先 ID	AND	+ -

どの取引先レコードを取得するのか、条件を設定します。

# ViewFramer (ビュー定義 -リレーション設定-)

□ 設定は次の通りです。

● 取引先

**[取引先ID] 等しい(=) [商談]-[取引先ID]**

→[商談]オブジェクトの[取引先名]に設定されている取引先の情報を取得する設定

No	関連オブジェクト
1	取引先 <span>tonihikisaki</span>

No	項目名	演算子	オブジェクト	項目名
1	取引先 ID	等しい(=)	0-商談	取引先 ID

関連オブジェクトの  
オブジェクトID

主オブジェクトで、参照関係に  
なっている項目  
(ここでは商談の[取引先名])

この場合、  
「取引先」オブジェクトの「取引先ID」は  
「商談」オブジェクトの「取引先ID」と等しい  
という意味になります。

# ViewFramer (ビュー定義 -出力項目設定- )

- 「出力項目設定」では、表示する項目を指定します。
- 「項目ビルダー」をクリックし、「列追加」から項目を追加できます。

ビュー：定義 (opro\_20230208\_header)

基本設定 リレーション設定 **出力項目設定** 出力条件設定

出力項目設定

対象取得元 shodan 全項目を追加

No	項目	項目ビルダー	ソート	グループ	出力項目名
1	torihikisaki.取引先名	項目ビルダー	順	昇順	取引先名

項目ビルダー

列追加

オブジェクト torihikisaki 列 取引先名

OK キャンセル

項目を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

列追加ボタン

# ViewFramer（ビュー定義 -出力項目設定-）

□ 「出力項目名」は、DDOのフィールド名と一致させてください。

※ただし、ビュー定義側に帳票に表示させない項目を持つことも可能です。

ViewFramer画面

出力項目名

取引先名

+

-

一致させると後のマッピング設定を楽に行うことが可能です。

DDO画面

1 DataSet 1  
種別:ヘッダー 項目数:1

取引先名

自動

フィールドを追加

フィールド名1,フィールド名2,...

# ViewFramer（ビュー定義 -出力項目設定-）

- 以下のようにになります

ビュー：定義 (opro\_20230208\_header)

基本設定 リレーション設定 **出力項目設定** 出力条件設定

出力項目設定

対象取得元 shodan

No	項目	ソート	グループ	出力項目名
1	torihikisaki.取引先名 <input type="button" value="項目ビルダー"/>	順 <input type="text"/>	昇順 <input type="button" value="↓"/> 順 <input type="text"/>	取引先名 <input type="button" value="+"/> <input type="button" value="-"/>



# ViewFramer（ビュー定義 -出力条件設定-）

- 「出力条件設定」は、出力条件を指定します。
- ここでは、画面で選択したレコードのみを出力するように設定します。

ビュー：定義 (opro\_20230208\_header)

基本設定 リレーション設定 出力項目設定 **出力条件設定**

### 出力条件設定

Limitを超えるデータがある場合は無視せずにエラーにする。

No 取得元

1 shodan Limit 未設定の場合は200,000が設定されます。

No	項目名	演算子	条件値	
1	商談 ID	等しい(=)	パラメータ- recordId	+ -

出力条件設定を行わなかった場合、  
全レコードを取得してしまうので必ず設定をしてください。

# ViewFramer（ビュー定義 -出力条件設定-）

□ 「出力条件設定」は次の通りです。

□ 商談

**[商談ID]等しい(=) [パラメータ名]-[recordId]**

→[recordId]パラメータに渡された[商談]のレコードIDを出力する条件

ビュー：定義 (opro\_20230208\_header)

基本設定 リレーション設定 出力項目設定 出力条件設定

### 出力条件設定

Limitを超えるデータがある場合は無視せずにエラーにする。

No 取得元

1 shodan Limit 未設定の場合は200,000が設定されます。

No	項目名	演算子	条件値
1	商談 ID	等しい(=)	パラメータ- recordId

最後に「保存」します。

保存

# ViewFramerでビュー一定義 (明細用)



# ViewFramer（ビュー一定義 -基本設定-）

- ヘッダー用のビュー同様、明細用のビューを作成します。
- 「基本設定」では、ビュー名を決めます。

マッピング ビュー CSVオブジェクト 表示設定 認証設定

ビュー：定義 (新規)

基本設定 リレーション設定 出力項目設定 出力条件設定

基本設定

ビュー名 opro\_20230208\_meisai

タグ (Enterキーで確定)

マッピング名

戻る 元に戻す

次へ 保存

英数字「\_」のみ使用可能。  
セミナーでは「お名前\_本日の日付\_meisai」としてください。

タグは任意設定です。  
検索キーワード、  
メモに使用してください。

設定できたら「次へ」

# ViewFramer（ビュー定義 -リレーション設定-）

□ 「リレーション設定」は、以下のように設定します。

✓ 起点とするオブジェクト「商談商品」オブジェクト

✓ 関連オブジェクト「商品」オブジェクト

→ [商談商品]に設定されている商品の情報を取得する設定です。

ビュー：定義 (opro\_20230208\_meisai)

基本設定 リレーション設定 出力項目設定 出力条件設定

### リレーション設定

主オブジェクト 商談商品 [OpportunityLineItem] shodanshohin

別名（英数字のみ使用可能）

No 関連オブジェクト

1	商品 [Product2]	shohin	+ -
---	---------------	--------	-----

No	項目名	演算子	オブジェクト	項目名	
1	商品 ID	等しい(=)	0-商談商品 [OpportunityLineItem]	商品 ID	AND + -

この場合、  
「商品」オブジェクトの「商品ID」が、  
「商談商品」オブジェクトの「商品ID」と等しい  
という意味になります。

# ViewFramer（ビュー定義 -出力項目設定-）

- 「出力項目設定」では、以下の項目を追加します。

オブジェクト	項目名	出力項目名
商品	商品名	商品名
商談商品	販売価格	販売価格
商談商品	数量	数量
商談商品	合計金額	合計金額

# ViewFramer（ビュー定義 -出力項目設定-）

- 前ページの通り設定すると、以下のようになります

ビュー：定義 (opro\_20230208\_meisai)

基本設定 リレーション設定 **出力項目設定** 出力条件設定

### 出力項目設定

対象取得元

No	項目	ビルダー	ソート	昇順	グループ	出力項目名	+	-
1	shouhin.商品名	項目ビルダー	順	<input type="checkbox"/>	順	商品名	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	shoudanshouhin.販売価格	項目ビルダー	順	<input type="checkbox"/>	順	販売価格	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	shoudanshouhin.数量	項目ビルダー	順	<input type="checkbox"/>	順	数量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	shoudanshouhin.合計金額	項目ビルダー	順	<input type="checkbox"/>	順	合計金額	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



# ViewFramer（ビューー定義 -出力条件設定-）

□ 「出力条件設定」は次の通りです。

□ 商談商品

**[商談ID]等しい(=) [パラメータ名]-[recordId]**

→[recordId]パラメータに渡された[商談]のレコードIDを出力する条件

ビュー：定義 (opro\_20230208\_meisai)

基本設定 リレーション設定 出力項目設定 出力条件設定

### 出力条件設定

Limitを超えるデータがある場合は無視せずにエラーにする。

No 取得元

1 shodanshohin Limit 未設定の場合は200,000が設定されます。

No	項目名	演算子	条件値
1	商談 ID	等しい(=)	パラメータ- recordId

※パラメーター名は自由ですが、今回は「recordId」としてください。

最後に「保存」します。

保存

# ViewFramer (ビュー一定義)

- ビューが作成できました。
- 次は「マッピング」でビューとテンプレートのマッピングを行います。

ビュー名	タグ	データソース	アクション
(フィルター)		(フィルター) ▾	
opro_20230208_meisai		Salesforce	    
opro_20230208_header		Salesforce	    



# ViewFramerでマッピング定義



# ViewFramer (マッピング定義)

- 「マッピング」タブを開き、新規ボタンをクリックします。
- マッピングでは、帳票テンプレートとビューの紐づけを行います。



# ViewFramer (マッピング定義)

- 以下の赤枠を設定します。
- マッピング名は任意の名前をつけます。
- タイプは「ヘッダー明細型」を選択してください。  
帳票のタイプによって、指定できるビューの数などが変わります。

The screenshot shows a form titled 'マッピング：定義 (新規)'. It contains four fields: 'マッピング名' (Mapping Name) with the value 'opro\_20230208', 'タグ (Enterキーで確定)' (Tag), 'タイプ' (Type) with the value 'ヘッダー明細型', and 'ビューの編集を許可する' (Allow editing of views) which is checked. A green callout points to the mapping name field, and another green callout points to the 'Allow editing of views' checkbox.

マッピング：定義 (新規)	
マッピング名	opro_20230208
タグ (Enterキーで確定)	
タイプ	ヘッダー明細型
ビューの編集を許可する	<input checked="" type="checkbox"/>

セミナーでは「お名前\_本日の日付」としてください。

「ビューの編集を許可する」は任意設定ですが、チェックが外れているとビューがロックされるので、開発中はチェックをいれておくと便利です。

# ViewFramer (マッピング定義)

- タイプをヘッダー明細型にすると、「主データ」「明細データ」用のビューを指定できます。
- 以下の赤枠を設定してください。

The screenshot shows the configuration interface for ViewFramer. It is divided into two main sections: '主データ' (Main Data) and '明細データ' (Detail Data). In the '主データ' section, the 'ビュー' (View) dropdown is set to 'opro\_20230208\_header' and the '取得' (Get) button is highlighted with a red box. In the '明細データ' section, the 'ビュー' dropdown is set to 'opro\_20230208\_meisai' and the '取得' button is also highlighted with a red box. The '項目' (Item) dropdown is set to '取引先名' (Counterparty Name). Below these sections, there is a table for '検索結果' (Search Results) with columns for '項目' (Item), '検索結果' (Search Results), and '主データとの結合' (Combination with Main Data). The table lists four items: '商品名' (Item Name), '販売価格' (Sales Price), '数量' (Quantity), and '合計金額' (Total Amount), each with a checked checkbox in the '検索結果' column and a dropdown menu in the '主データとの結合' column.

1 別名をつける (任意)

2 作ったビューを選択する

3 ビューを指定して取得ボタンをクリック

項目	検索結果	主データとの結合
1 商品名	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="text"/>
2 販売価格	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="text"/>
3 数量	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="text"/>
4 合計金額	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="text"/>

# ViewFramer (マッピング定義)

- 「次へ」で遷移後、「Documentizer」タブを開きます。  
※Salesforceへのログイン画面が表示されるので、使用する組織にログインしてください。
- 使用するテンプレートを指定します。
- 作成したテンプレートと、ビュー定義を紐づけます。

Salesforceログイン画面

データソース Salesforce

Sandboxへ接続する

現在のセッション情報を継続する ログイン

一度ログインしていると「現在のセッション情報を継続する」よりログインを行うことが可能です。

テンプレートを指定します。

マッピング : 定義 (opro\_20230208) : 出力設定

出力確認 Documentizer D3Worker CSV

Documentizer

プロパティ

データ main

出カファイル名 指定する  取引先名

テンプレート seminar2023.xlsx

# ViewFramer (マッピング定義)

- テンプレートのフィールドと、ビューのフィールドをマッピングします。
- 「自動マッピング」ボタンで同名のフィールドを紐づけることができます。
- すべて紐づけることができたなら、「配備」をクリックします。

The screenshot shows the ViewFramer interface with two data sources: 'main' and 'list1'. The 'main' source has a table with columns 'No', 'データ', 'データフィールド', '画像', and '連番'. The 'list1' source has a table with columns 'データ', 'データフィールド', '画像', and '連番'. Annotations include:

- 1: td2のデータを「list1」に変更します。
- テンプレートのフィールド名
- ビューの出力項目名
- 自動マッピング

「自動マッピング」よりマッピングを行います。

「配備」を行います。

保存 配備

# STEP4 アクションの作成



# ViewFramer (ボタンの作成—ViewFramer画面—)

- マッピング画面から、Salesforceカスタムボタンのサンプルを取得できます。
- 「APIサンプル」 ボタンをクリックします。

マッピング名	タグ	配備状況	データソース	アクション	APIサンプル
(フィルター)		(フィルタ	(フィ) ↓		
opro_20230208		配備済み 2022/07/12	Salesforce	    	<b>APIサンプル</b>

・ サービス : Documentizer  
・ 形式 : Excel  
が選択されていることを確認し、  
Visualforceページボタンをクリック  
します。

出カスクリプトサンプル (Salesforce連携)

サービス

形式

アップロード  CSVオブジェクトを使用している

※ここで取得できるVisualforce  
ページサンプルは詳細ページ用  
なので、リストビューページに  
はおけません。

# ViewFramer (ボタンの作成)

- Visualforceページがダウンロードされます。

```
<apex:page standardController="Opportunity" standardStylesheets="false"
  showHeader="false" sidebar="false" showQuickActionVfHeader="false"
  applyHtmlTag="false" applyBodyTag="false" docType="html-5.0">
<html lang="ja">
<head>
<meta charset="utf-8" />
<meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1" />
<title>ViewFramer - opro_20230208</title>
<apex:slds />
</head>
<body>
<div class="slds-scope">
  <div class="slds-p-vertical_x-small">
    <h1 class="slds-text-heading_small">実行しています...</h1>
    <p class="slds-text-body_regular">
      <a href="#" onclick="submitAction();">自動的に開始されない場合はこのリンクをクリックしてください。</a>
    </p>
  </div>
</div>
<apex:includeScript value="/canvas/sdk/js/publisher.js" />
<apex:includeScript value="https://s.oproarts.com/viewframer/js/viewframer-1.70.js" />
<script type="text/javascript">
function isMobile() { return '!!JSENCODE($User.UIThemeDisplayed)' === 'Theme4t'; }
function s1Version() { return isMobile() ? '49.0' : ''; }
function submitAction() {
  /* if (!window.confirm("実行しますか?")) { return; } */
  VIEWFRAMER.action({
    mappingNm: 'opro_20230208',
    fileName: 'opro_20230208',
    /* nsPrefix: 'oproarts1', */
    recordId: '!!JSENCODE(Opportunity.Id)',
    api: [ '!!JSENCODE($Organization.Id)', '!!JSENCODE($User.Id)',
          '!!JSENCODE($Api.Session_ID)', '!!JSENCODE($Api.Partner_Server_URL_400)' ]
  }).url('https://vfrest.ap.oproarts.com/xa_view_framer_rest/v3/action/salesforce').withS1(s1Version()).executeMergeDDO();
  VIEWFRAMER.publisherClose();
  /* if (!isMobile()) { window.setTimeout(function () { window.history.back(); }, 1000); } */
}
VIEWFRAMER.addOnLoadHandler(function () { submitAction(); });
</script>
</body>
</html>
</apex:page><!-- END -->
</-->
```

後ほど使用するのでテキストは開いておいてください。

# ViewFramer (ボタンの作成—Visualforceページ—)

- ❑ Salesforceでボタンを作成します。Salesforce組織にログインします。
- ❑ 設定>カスタムコード>Visualforceページを選択します。



# ViewFramer (ボタンの作成—Visualforceページ—)

- Visualforceページが開くので、「新規」ボタンをクリックし、Visualforceページを設定します。

Visualforce ページ

ページの編集 保存 適用 キャンセル 使用場所 コンポーネントの参照

ページ情報

表示ラベル

名前

説明

Lightning Experience、エクスペリエンスビルダーサイト、およびモバイルアプリケーションで利用可能 GET 要求の CSRF 保護が必要

Visualforce Markup Version Settings

```
1 <apex:page standardController="Opportunity" standardStylesheets="false"
2   showHeader="false" sidebar="false" showQuickActionVfHeader="false"
3   applyHtmlTag="false" applyBodyTag="false" docType="html-5.0">
4 <html lang="ja">
5 <head>
6 <meta charset="utf-8" />
7 <meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1" />
8 <title>ViewFramer - XA_TEST</title>
9 <apex:slds />
10 </head>
```

## ■ 表示ラベル

入力例：お名前\_本日の日付

## ■ 名前

入力例：お名前\_本日の日付

## ■ 「Lightning Experience ~」にチェックを入れる

## ■ 内容

元々入っているテキストを削除し、先ほどダウンロードしたVisualforceページを貼り付けます。  
詳しくは次のページでご説明します。

# ViewFramer (ボタンの作成—Visualforceページ—)

- 貼り付けたVisualforceページの内容を編集します。
- 「保存」を行います。

変更前

```
function submitAction() {  
  /* if (!window.confirm('実行しますか?')) { ret  
  
  VIEWFRAMER.action({  
    mappingNm: 'opro_20230208',  
    fileName: 'opro_20230208',  
    /* nsPrefix: 'oproarts1', */  
    recordId: '{!JSENCODE(Opportunity.Id)}',  
  
    api: ['{!JSENCODE($Organization.Id)}', '{!JS  
          '{!JSENCODE($Api.Session_ID)}', '{!JSEN  
  }].url('https://vfrest.ap.oproarts.com/view fr
```

変更後

```
function submitAction() {  
  /* if (!window.confirm('実行しますか?')) { ret  
  
  VIEWFRAMER.action({  
    mappingNm: 'opro_20230208',  
    fileName: 'opro_20230208',  
    nsPrefix: 'oproarts1',  
    recordId: '{!JSENCODE(Opportunity.Id)}',  
  
    api: ['{!JSENCODE($Organization.Id)}', '{!JS  
          '{!JSENCODE($Api.Session_ID)}', '{!JSEN  
  }].url('https://vfrest.ap.oproarts.com/view fr
```

Visualforceページ31行目の  
「/\* nsPrefix:'oproarts1', \*/」を  
「nsPrefix:'oproarts1',」に修正します。



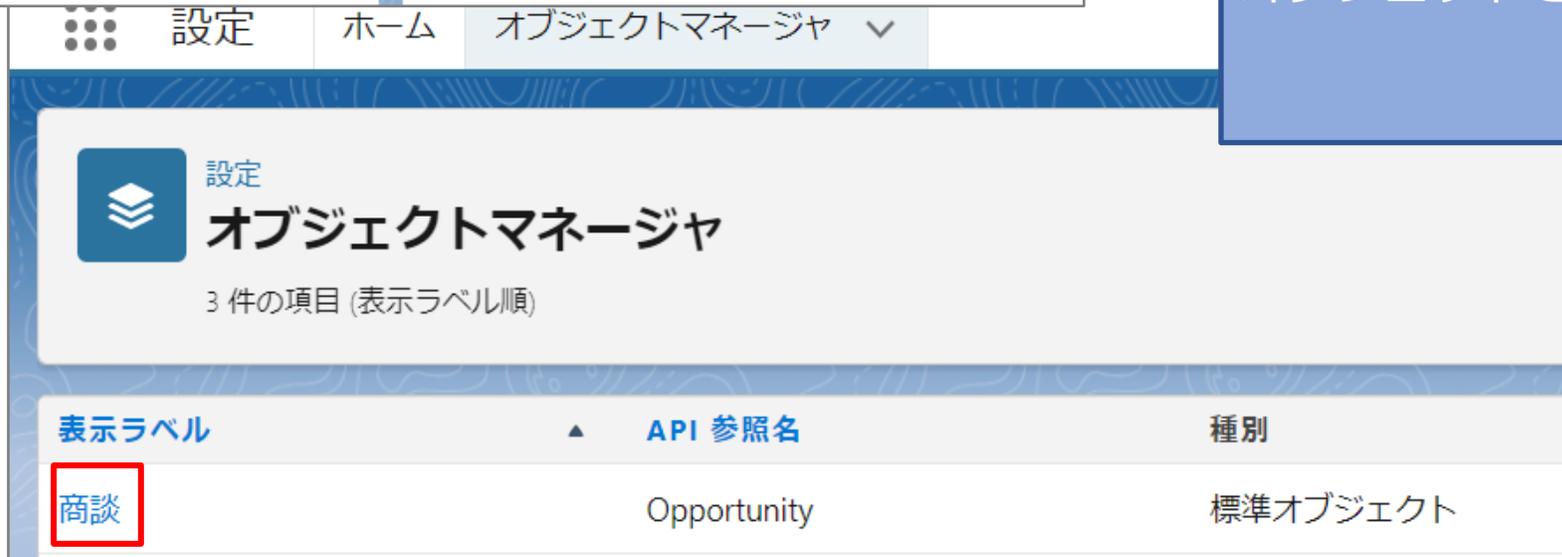
# ViewFramer (ボタンの作成ーオブジェクトマネージャ)

- [オブジェクトマネージャ]タブより、ボタンを置くオブジェクトを選択します。



今回は「商談」を選択します。

クイック検索より検索すると素早くオブジェクトを探ることができます。



# ViewFramer（ボタンの作成—オブジェクトマネージャー）

- [ボタン、リンク、およびアクション]を選択して、[新規アクション]をクリックします。



設定 > オブジェクトマネージャ  
商談

詳細  
項目とリレーション  
ページレイアウト  
Lightning レコードページ  
**ボタン、リンク、およびアクション**  
コンパクトレイアウト  
項目セット

ボタン、リンク、およびアクション  
46 件の項目 (表示ラベル順)

Q クイック検索

新規アクション 新規ボタンまたはリンク

表示ラベル	名前	説明	型	内容のソース	上書き
Delivery Status	DeliveryStatus		詳細ページリンク	URL	▼
					▼
list	listview		リストボタン	OnClick JavaScript	▼
					▼

# ViewFramer（ボタンの作成—新規アクション—）

- 下記のように設定して[保存]ボタンをクリックします。

商談 アクション  
新規アクション

アクション情報を入力 保存 キャンセル

オブジェクト名 商談 ⓘ

アクション種別 カスタム Visualforce ▼

Visualforce ページ opro\_20230208 [opro\_20230208] ⓘ

高さ 250 ピクセル ⓘ

標準の表示ラベル種別 なし ⓘ

表示ラベル

名前 ⓘ

説明 ⓘ

アイコン ⚡ アイコン変更

保存 キャンセル



## ■ アクション種別

カスタム Visualforce を指定

## ■ Visualforce ページ

作成した Visualforce ページ を指定

## ■ 高さ

変更なし

## ■ 表示ラベル

入力例：お名前\_本日の日付

## ■ 名前

入力例：お名前\_本日の日付

# ViewFramer (ボタンの作成ーページレイアウトー)

- 設定 > オブジェクトマネージャ > 「商談」画面に戻り、[ページレイアウト]をクリックし、ボタンを表示させたいページレイアウトのリンクをクリックします。

The screenshot shows the Salesforce '商談' (Opportunity) object manager page. The breadcrumb trail is '設定 > オブジェクトマネージャ > 商談'. The left sidebar menu has 'ページレイアウト' (Page Layouts) highlighted with a red box. The main content area shows a list of page layouts for 'Opportunity', with 'Opportunity Layout' selected and highlighted with a red box. A hand icon points to the '商談' object name in the top right, and a large black arrow points from the selected layout back to the object name.

表示ラベル	標準の表示ラベル種別	名前	説明
[V]			

商談 アクション  
[ViewFramer]見積書\_サンプル

アクションの詳細

設定 > オブジェクトマネージャ  
商談

ページレイアウト  
4件の項目 (ページレイアウト名順)

ページレイアウト名

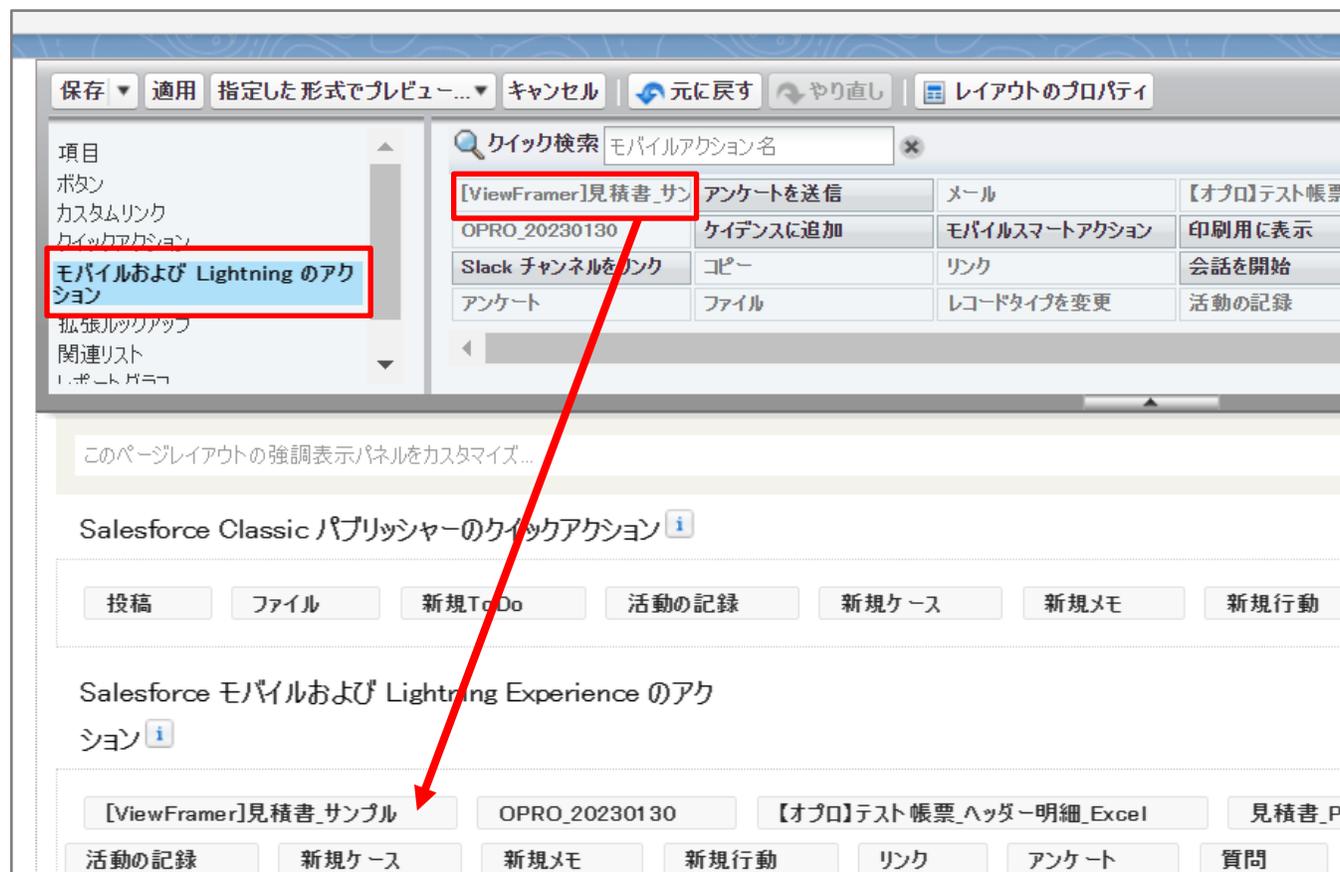
- Opportunity Layout
- Opportunity (Marketing) Layout
- Opportunity (Sales) Layout
- Opportunity (Support) Layout

オブジェクト名 商談  
アクション種別 カスタム Visualforce  
アイコン ⚡

セミナーでは「Opportunity Layout」のリンクをクリックします。

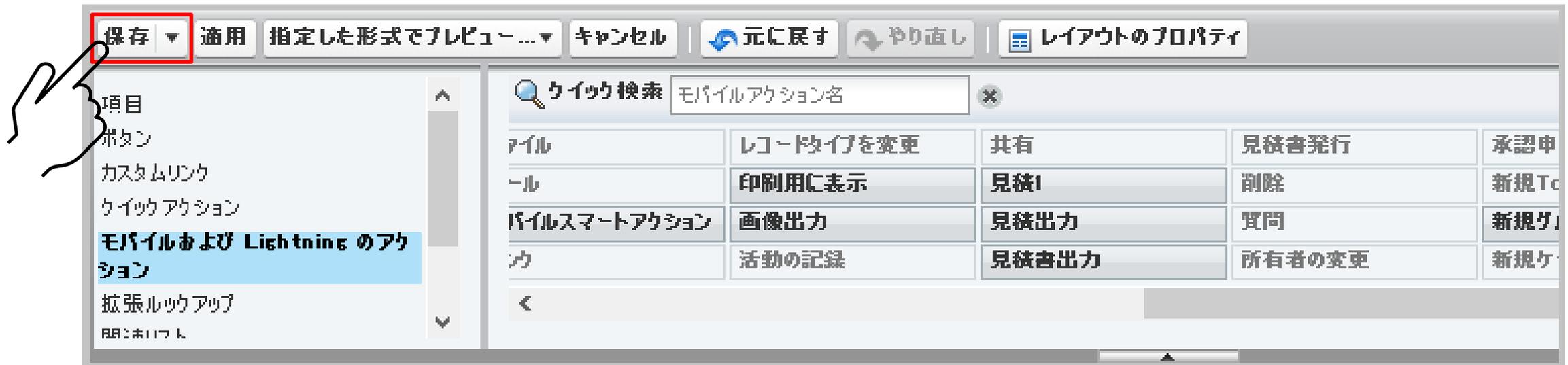
# ViewFramer (ボタンの作成ーページレイアウトー)

- レイアウト編集画面の「モバイルおよびLightningのアクション」メニューをクリックし、作成したボタンを「Salesforce モバイルおよび Lightning Experience」セクションにドラッグ & ドロップします。



# ViewFramer (ボタンの作成—ページレイアウト—)

- [保存]ボタンをクリックしてレイアウトを保存します。



# ViewFramer（ボタンの作成—出カー）

- 商談の詳細ページにアクションが表示されていることを確認し、クリックして出力を試します。

The screenshot displays a CRM interface for a sales negotiation. At the top, the title is '商談 【セミナー用】 サンプル商談A'. To the right, there are buttons for '+ フォローする' and '[ViewFramer]見積書\_サンプル', with the latter highlighted by a red box and a hand icon. Below the title, a table shows negotiation details: '取引先名' (Customer Name), '完了予定日' (Completion Date: 2023/01/01), '金額' (Amount: ¥20,000), and '商談所有者' (Negotiation Owner: オプロ DXユーザ1). A progress bar below the table shows stages: Prospecting (active), Qualification, Needs Analysis, Value Propositi..., Id. Decision M..., Perception An..., Proposal/Price ..., and Negotiation/R... Below the progress bar, there are tabs for '活動' (Activity), '詳細' (Details), and 'Chatter'. The '活動' tab is active, showing a '新規ToDo' (New To-do) section with a text input field 'ToDo を作成...' and an '追加' (Add) button. On the right side, there is a '関連' (Related) section showing '商品 (3)' (Products (3)) and 'PC'.

# ViewFramer (出力)

出力イメージ

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		見積書						
3								
4								
5								
6								
7		見積金額		¥22,000				
8								
9		下記の通りお見積申し上げます。						
10								
11		商品名			単価	数量	金額	
12		PC			10000	1	10,000	
13		キーボード			1000	2	2,000	
14		コード			500	6	3,000	
15		モニター			5000	1	5,000	
16								
17						合計		¥20,000
						消費税		¥2,000
						総合計		¥22,000

おわりに



# サポートサイトのご紹介

- ご利用いただけるサービス
  - FAQ・ドキュメントの閲覧
  - サポートへの問い合わせ
- ご登録がお済みでない方
  - サポートサイトユーザー登録フォーム



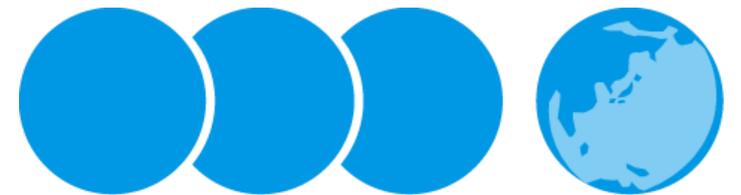
# 補足説明

---

## □ DDOツールの補足

[Document Designer for Office ツールについて](#)

ありがとうございました。



**Less is More.**